

佐土原町文化財調査報告書第11集

佐土原町内遺跡 I

1998. 3

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

序

佐土原町は、宮崎市の北側に隣接しており近年大規模な諸開発が推し進められています。佐土原町教育委員会では、諸開発と文化財保護事業が共存できるよう平成元年度から平成2年度まで佐土原町遺跡詳細分布調査を実施し、その中で遺跡分布地図を作成しました。開発事業の際は、この分布図に基づいて事前に試掘・確認調査を行い遺跡の保存に努めてまいりました。さらに平成7年度から平成9年度にかけて町内遺跡発掘調査を実施いたしました。その中で伊賀給遺跡は、南九州で初めて弥生時代後期水田が小区画で、また砂丘地帯としては全国で初めて確認され今後の水田の調査研究にとって貴重な資料となりました。

本書は、佐土原町教育委員会が平成8年度・平成9年度に実施した町内の試掘・確認調査の報告であります。本書が埋蔵文化財に対する理解と認識を深める一助となることを期待します。

最後に、調査に御協力を頂いた諸関係機関や地権者の方々に深く感謝申し上げます。

平成10年3月

佐土原町教育委員会

教育長 小野 勝

例　　言

1. 本書は、佐土原町教育委員会が文化庁・宮崎県教育委員会の補助を受けて実施した町内遺跡発掘調査の報告書である。

2. 調査は下記の体制でおこなった。

平成 8 年度

調査主体	佐土原町教育委員会	教　育　長	小野　勝
		社会教育課長	久枝　六郎
		同課長補佐	新名　賢次
庶　　務		係　　長	東　浩一郎
タ		臨時職員	後藤 啓子
調査担当		主任主事	木村 明史
佐土原町跡歴史資料館館長			赤木 達也
調査補助員			櫛間 史朗

整理員

平成 9 年度

調査主体	佐土原町教育委員会	教　育　長	小野　勝
		社会教育課長	久枝　六郎
		同課長補佐	新名　賢次
庶　　務		係　　長	東　浩一郎
タ		主任主事	黒木 直英
タ		臨時職員	後藤 啓子
調査担当		主　　査	木村 明史
佐土原町跡歴史資料館館長			赤木 達也
調査補助員			櫛間 史朗

整理員

土器の色調は、農林省農林水産省技術会事務局監修の標準土色帖による。

- 出土遺跡は、佐土原町教育委員会（佐土原町出土文化財管理センター）で保管している。
- 本書の編集は、木村明史主査が行った。

目 次

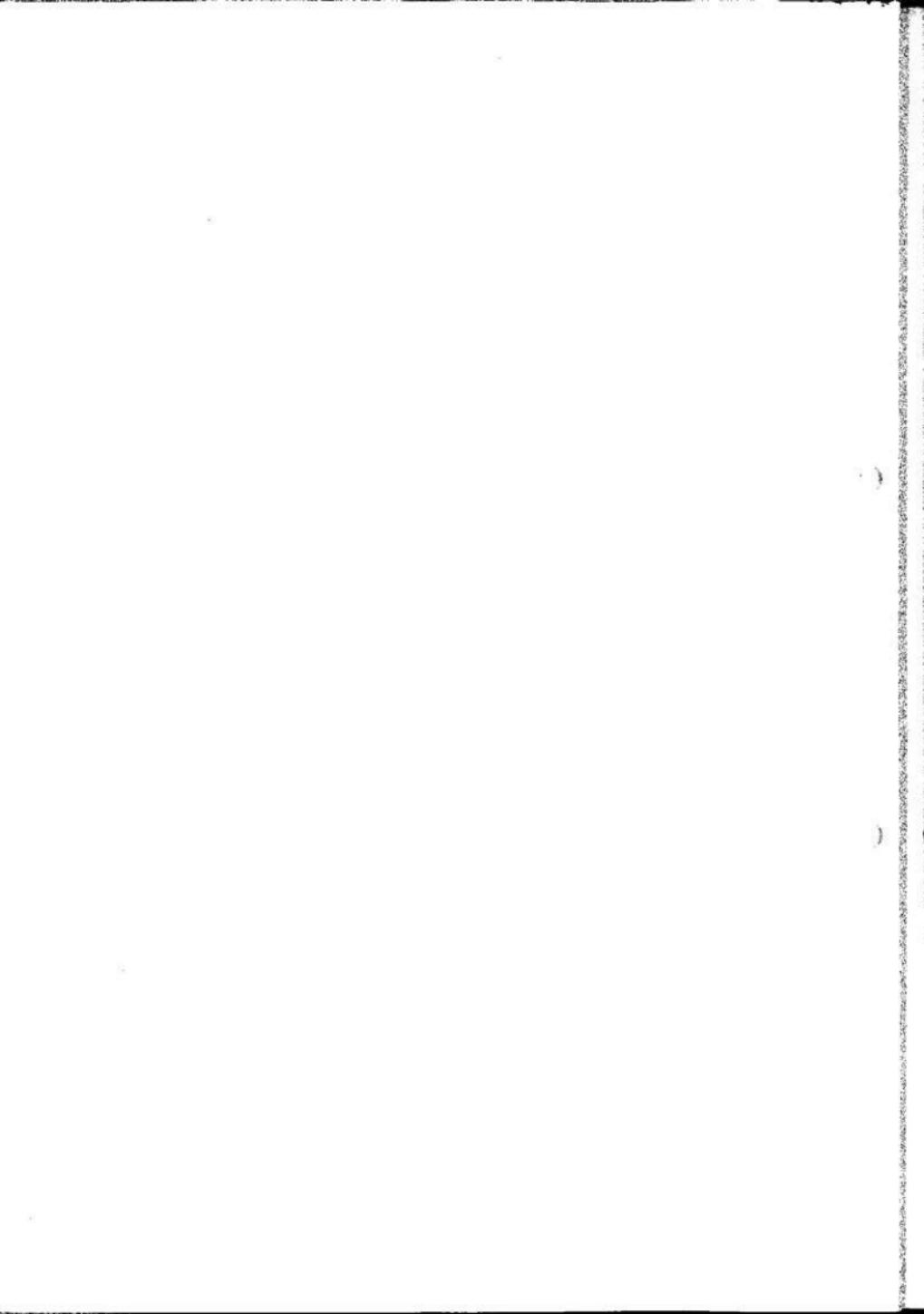
I はじめに	1
1 佐土原町の環境	
2 調査の目的	
II 確認調査	3
1 二月田第二遺跡	3
2 伊賀給遺跡	9
3 尾曲遺跡	19
4 町道テクノリサーチパーク	25

挿図目次

第1図 二月田第二遺跡調査区図	3
第2図 伊賀給遺跡調査区図	9
第3図 尾曲遺跡調査区図	19
第4図 町道テクノリサーチパーク調査区図	25

図版目次

図版1 平成8・9年度町内遺跡発掘調査地	2
図版2 二月田第二遺跡	4
タ 全景写真	4
タ 遺構写真	5
図版4 タ 遺物写真・遺物実測図	6
図版5 タ 遺構図	7
図版6 タ	8
図版7 伊賀給遺跡	10
タ 全景写真	10
タ 遺構写真	11
タ 遺物写真	12
図版10 タ 遺物実測図	13
図版11 タ 遺構図	14
図版12 タ	15
図版13 タ 土層図	16
図版14 タ	17
図版15 タ	18
図版16 尾曲遺跡	20
タ 全景写真・遺構写真	20
タ 遺構図	21
図版18 タ 土層図	22
図版19 タ	23
図版20 タ	24
図版21 テクノリサーチパーク	26
タ 全景写真・遺構写真	26
タ 遺構写真	27
タ 遺構図	28



I はじめに

1 佐土原町の環境

佐土原町は、北緯32度1分・東経131度28分に位置し、気候は年平均気温17度・年雨量2000以上で太平洋を東側に面し一年間を通して温暖な環境に属している。地形の特徴は、西側に西都市から続く都於郡・仲間原台地、船野台地、年居台地、町内中央と一つ瀬川低地に沿って佐土原丘陵、鹿野田・上田島丘陵、日向灘と一つ瀬川に囲まれた川・海岸低地に形成されている。台地は、火山堆積物といてアワオコシ (AW)・イワオコシ (IW)・第三オレンジ (Or 3)・阿蘇4火碎流堆積物 (Aso-4)が堆積される。時代は、縄文時代から旧石器時代前期の間である。従って、主に先史時代の遺跡で占められる。特に船野台地には、旧石器時代後期に相当する船野遺跡から細石器文化を代表する船野型細石核が発掘されている。丘陵は、入戸火碎流堆積物により大半が築かれており縄文時代後期以降の遺跡が残っている。佐土原丘陵北西に縄文草創期の集落、中世末期から近世初期の寺院（隱山遺跡）、奈良・平安時代の窯業（下村窯跡群）、中世の城郭（古城）、近世の窯業（苗代川焼物稽古所跡）・宝塔山をとりまく墓石群、寺院（大光寺・高月院・崇称寺・吉祥寺・松巣寺・誓念寺・多楽院）、南東に弥生時代の集落や貝塚（下那珂遺跡）、中世城郭（諏訪城・嶺ヶ城）、古墳時代の横穴（県指定広瀬村古墳群）、鹿野田・上田島丘陵は、丘陵中央に先史時代から近世にかけての周知の遺跡が多く点在する。丘陵南東南西周辺部には、古墳時代の横穴（県指定佐土原村古墳群）、中近世の城郭（内城・佐土原城跡）が造られている。また近年、西側周辺部は東九州自動車道建設工事に伴う発掘調査が進められ幾つかの成果があがっている。佐土原村古墳周辺遺跡は、丘陵谷間平坦部から平安時代以降の畠跡で奈良・平安期の土師器・須恵器が出土。山内・桜原・西ヶ迫・黒貫遺跡は、都於郡・仲間原台地の中央付近に位置する。出土遺構は、縄文時代早期の炉穴等が65基以上検出され九州内においても例のない多さである。出土物は、貝殻円筒土器・無文土器等である。長原遺跡は、台地の東西の舌状に伸びる根幹部に立地し、後期旧石器時代の礫群が7基検出されている。遺物は、ナイフ形石器、剥片尖頭器、スクレイパー、敲石、磨石、台石、剥片、畦原型細石核、細石刃等が出土している。上ノ追遺跡は、台地の縁辺部にあり土坑6基、陥し穴状遺構1基、集石遺跡2基が検出された。下屋敷遺跡は、台地上に広がり後期旧石器時代の礫群が33基以上検出された。遺物は、ナイフ形石器、剥片尖頭器、三稜尖頭器、スクレイパー、石核、剥片、敲石、磨石等が出土している。また縄文早期の集石が3基検出され遺物は、打製石鎌、局部磨製石斧、剥片、押型文土器、無文土器等の出土があった。梅ヶ島遺跡は、台地と台地の間に位置し、近くに新宮川が流れている。遺構として小区画の水田が高地から低地に下る傾斜を利用して棚田状に1区設けられていた。遺物は、平安時代の布目痕土器・16世紀の輸入陶磁器片が多数出土した。海岸低地の伊賀賀遺跡では、平成9年度の6月から10月に発掘調査を実施して弥生時代後期から中世にかけての小区画51枚総面積350m²の水田で、遺物は弥生土器片・土師器片等が発見された。

2 調査の目的

佐土原町は、近年各種の開発が増加傾向にある。内容は、公共事業については、東九州自動車道関連の道路・テクノリサーチパーク関連の道路・上水道貯水施設・宝塔山公園整備・農業関連事業・民間事業は、ゴルフ場建設・送電線鉄塔建設・宅地造成等が実施されている。従って、開発事業に円滑に対応するため事前に埋蔵文化財の確認及び試掘調査を進めた。



凡例	
○	川川筋
○	河川筋
○	開拓筋
○	アノリーチーク

地図の右側に記載する「○」は、左側に記載する「○」の意味を示す。

佐土原町全図



平成五年一月 宮崎県宮崎市佐土原町

図版1 平成8・9年度町内測量発振調査地

平成8年度埋蔵文化財発掘調査

市町村	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村明史・櫛間史朗		
遺跡名	二月田第二遺跡		所在地	佐土原町大字上田島			
調査原因	農村総合整備モデル事業		調査面積	約100m ²			
調査期間	平成8年8月		調査後の処理	消滅			
遺跡の種別	経塚		遺跡の主な時代	近世			
検出遺構	集石遺構 2基						
出土遺物	第1集石 陶器製の壺片						
特記事項	<p>丘陵先端部東側のところから集石遺構2基が検出された。</p> <p>第1集石の底の中央部から陶器製の壺片が出土。両集石は、形態から近世以降の礫石経塚と推察できる。</p>						
調査地							



北方向より



第1・第2集石

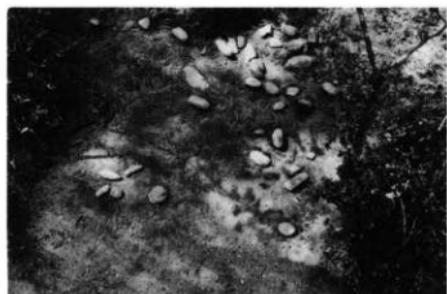
図版2 二月田第二遺跡 全景写真



第1集石



第2集石



第3集石



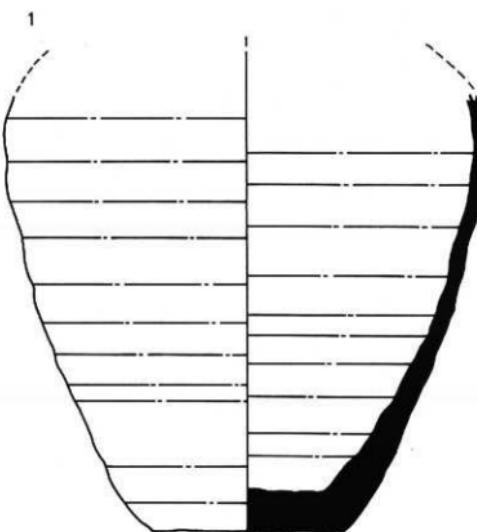
遺物出土状況（第1集石）

図版3 二月田第二遺跡 遺構写真

1



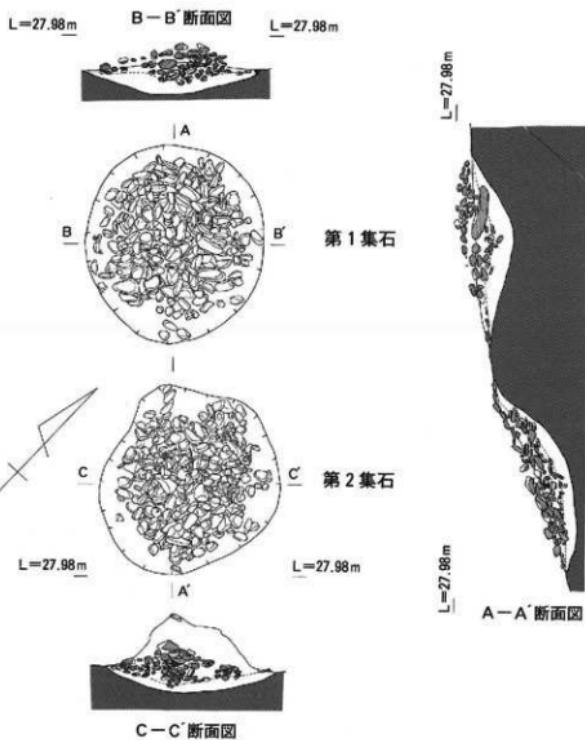
0



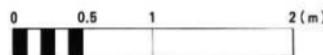
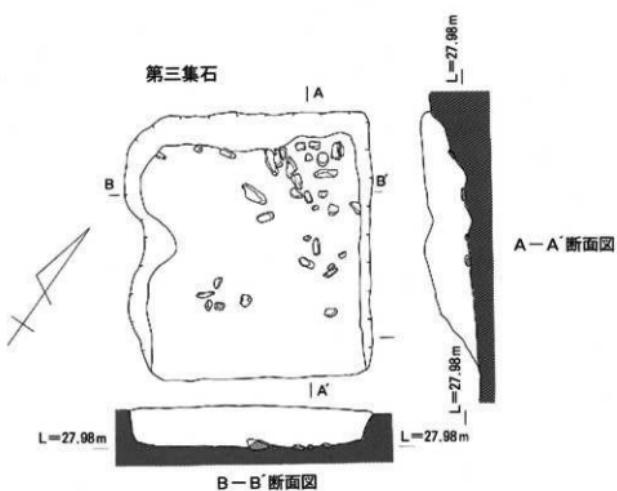
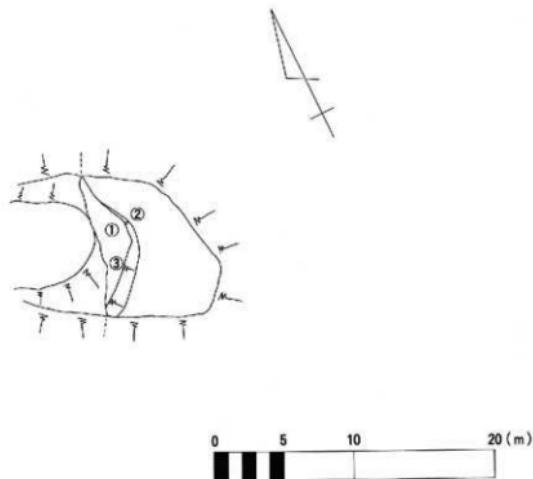
0



図版4 二月田第二遺跡 遺物写真・遺物実測図

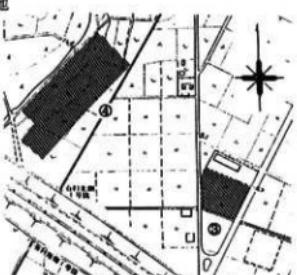
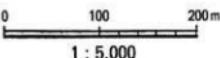


図版5 二月田第二遺跡 遺構図



図版 6 二月田第二遺跡 遺構図

平成8年度埋蔵文化財発掘調査

市町村	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村明史・櫛間史朗		
遺跡名	伊賀給遺跡		所在地	佐土原町大字下田島（前牟田地区）			
調査原因	シーサイドさどわら宅地造成事業		調査面積	約8,000m ² （トレンチ面積393.5m ² ）			
調査期間	平成8年9月2日～10月2日		調査後の処理	埋土			
遺跡の種別	水田		遺跡の主な時代	中世・近世			
検出遺構	1地区 溝状遺構 4地区 溝状遺構						
出土遺物	1地区 須恵器 7点 2地区 土鍋 1点 4地区 土器片 1点						
特記事項	1地区のトレンチA・Bから7個の土器片が出土し、トレンチCには、自然堆積層が検出された。周辺に小規模集落があると推測される。4地区には、トレンチA・Bから生活面に溝状遺構が検出された。溝状遺構部分には、粘土ブロックが含まれていた。厚さ20cm程の粘土状の層が遺構より両側から検出された。（客土）トレンチA・Bから軽石と1cmに5～10%ガラス質を含む火山灰ではないかと思われる層を検出した。トレンチAの遺構（生活面）の上から木片が検出された。従って中世期の水田耕作に伴う排水等の施設関係の遺構の可能性がある。						
調査地	 						
							
	1:5,000						



1 地区（西方向より）



2 地区（東方向より）



3 地区（西方向より）



4 地区（西方向より）

図版7 伊賀給遺跡 全景写真



1 地区・トレンチ A (溝状遺構)



4 地区・トレンチ A (木材出土状況)

1



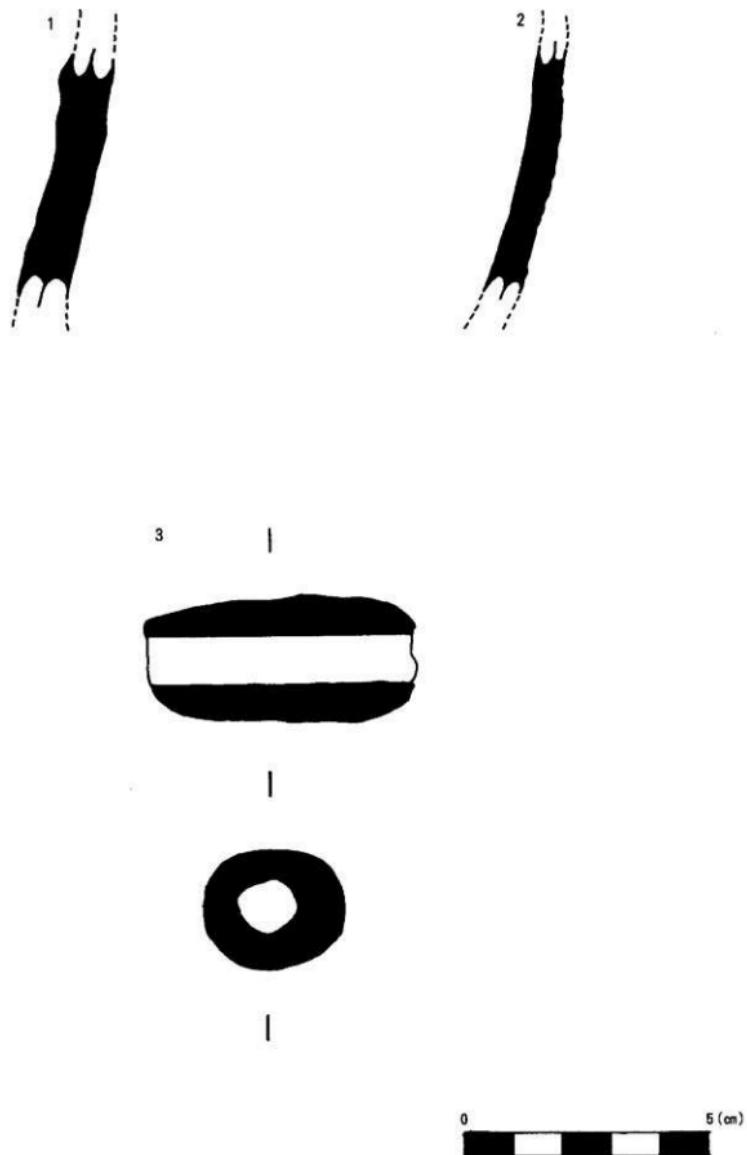
2



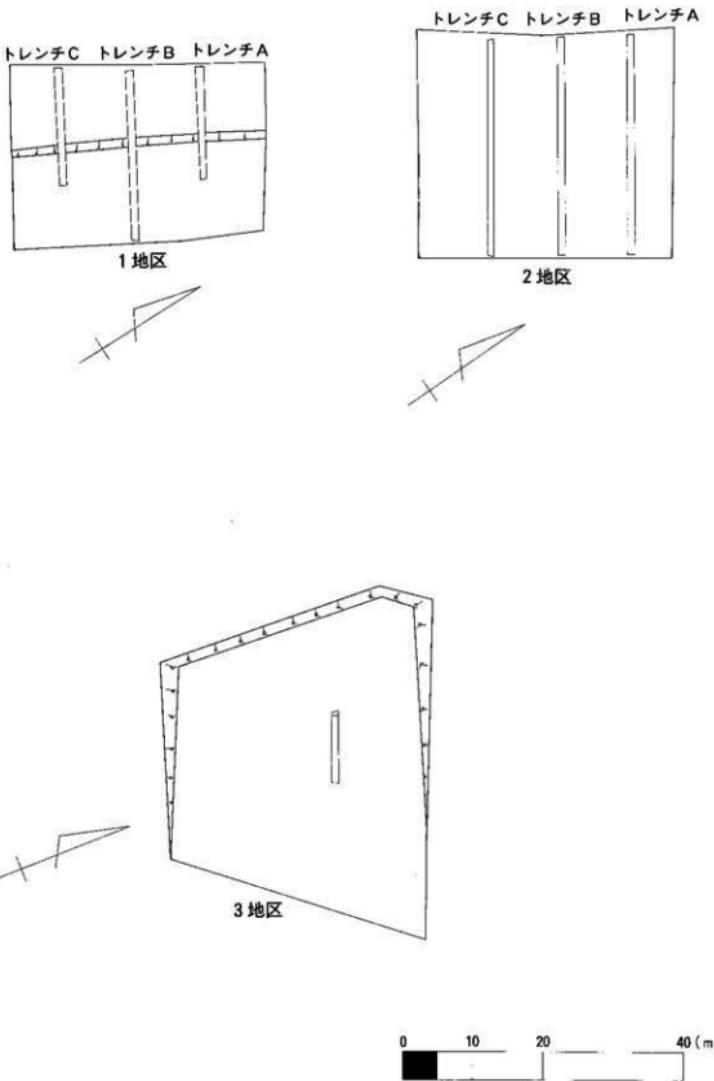
3



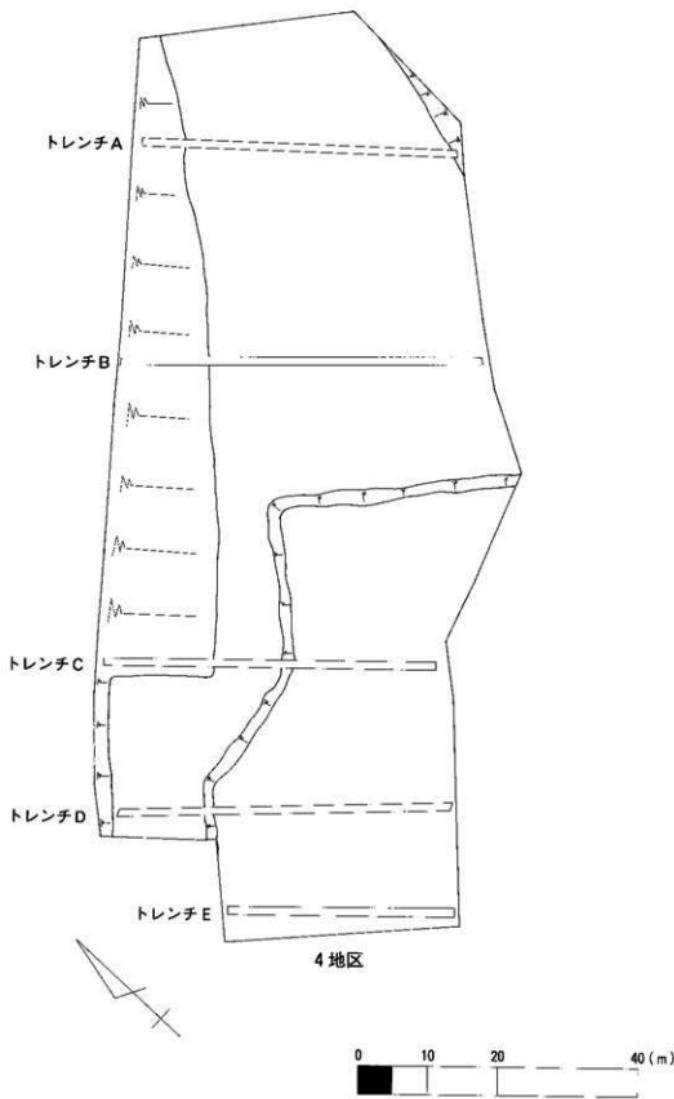
図版9 伊賀給遺跡 遺物写真 (1. 須恵器 2. 須恵器 3. 土錘)



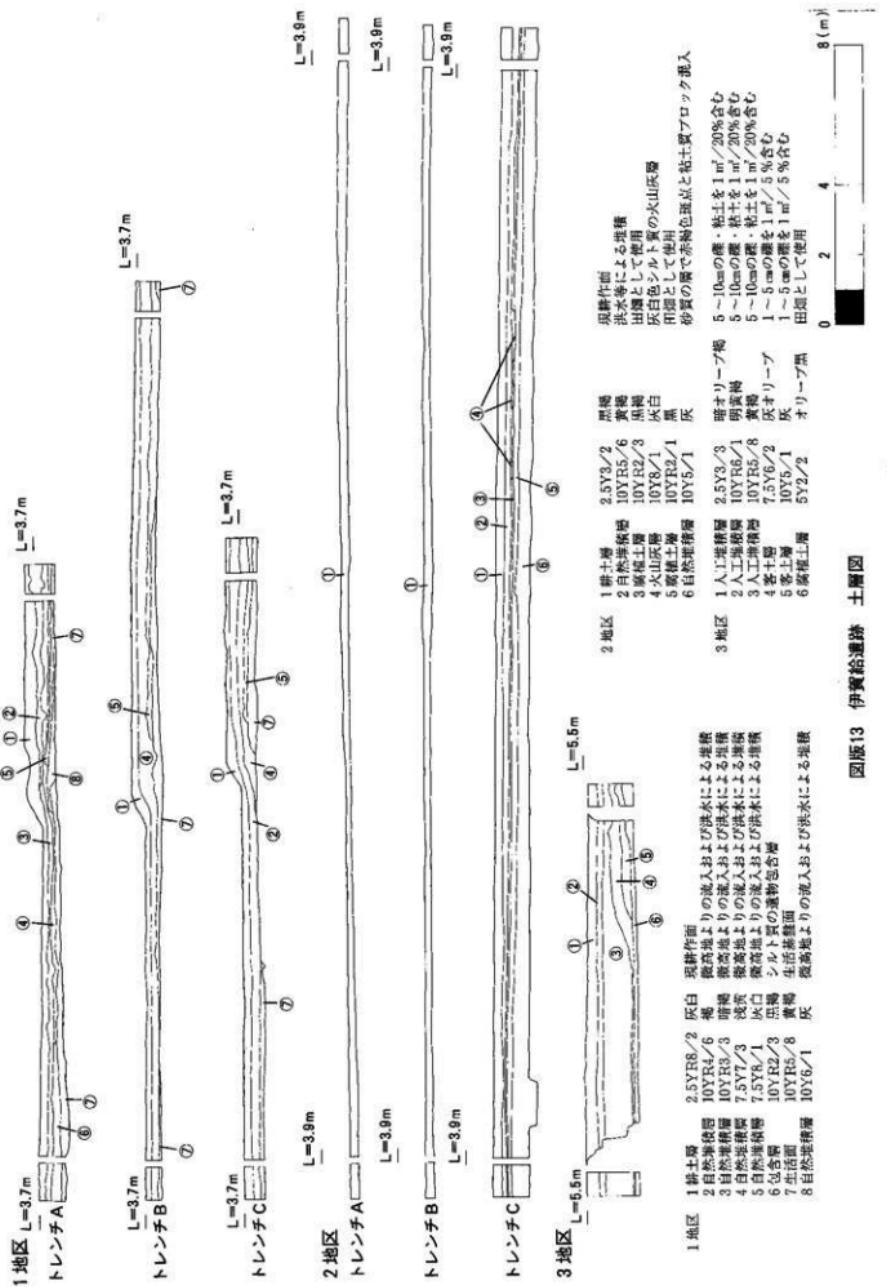
図版10 伊賀給遺跡 遺物実測図



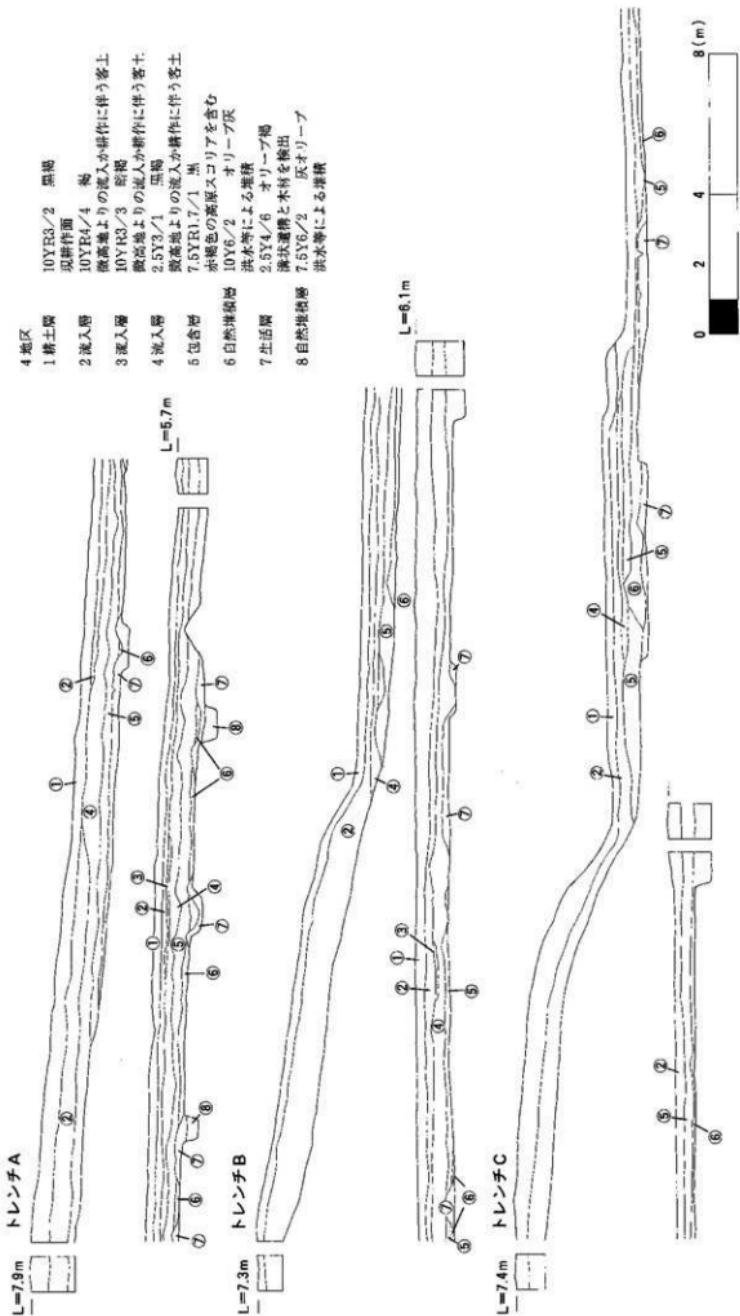
図版11 伊賀給遺跡 遺構図



図版12 伊賀給遺跡 遺構図

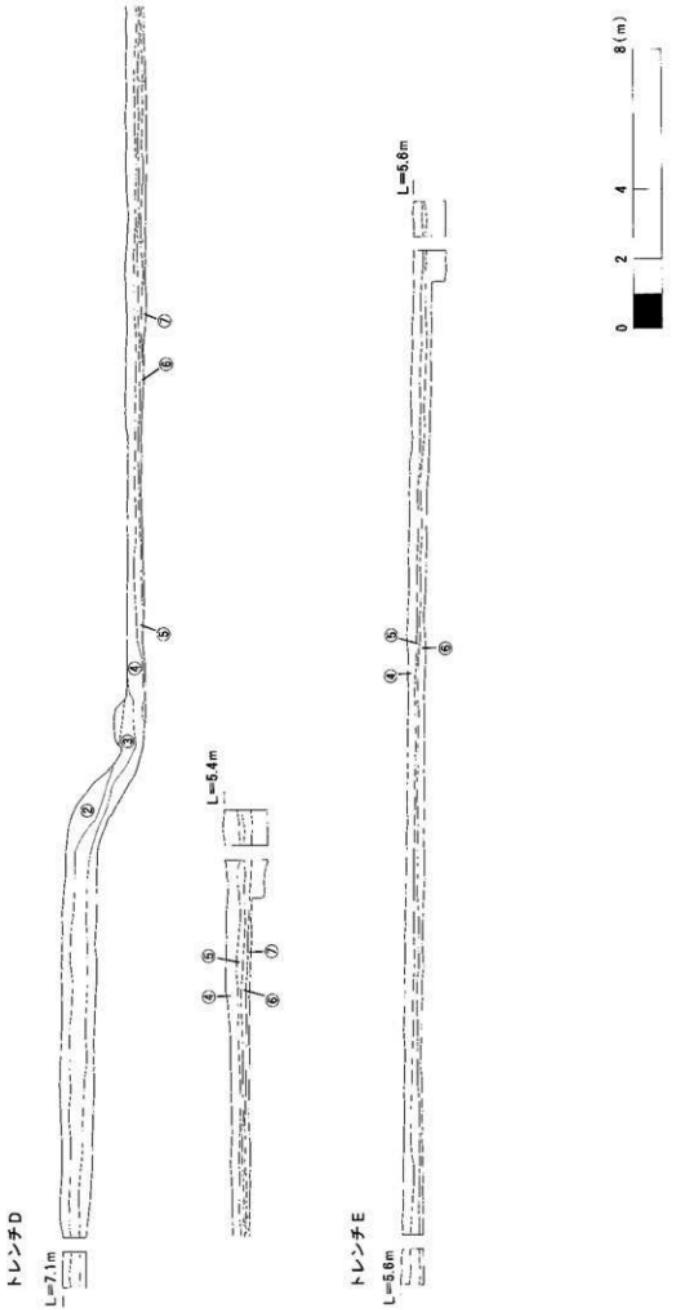


図版13 伊賀給遺跡 土層図



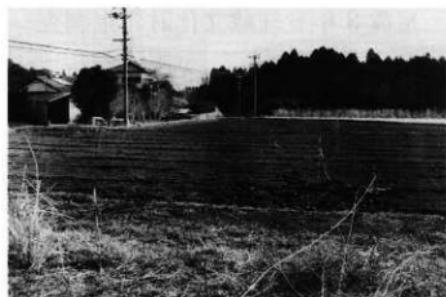
図版14 伊賀給遺跡 土層図

図版15 伊賀給水場 土壌図



平成8年度埋蔵文化財発掘調査

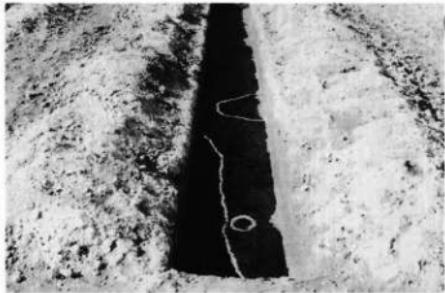
市町村	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村明史・鶴間史朗		
遺跡名	尾曲遺跡		所在地	佐土原町大字上田島（野久尾）			
調査原因	町道西野久尾船野線改良工事		調査面積	約1,200m ² （トレンチ面積128.6m ² ）			
調査期間	平成9年3月7日～3月27日		調査後の処理	埋土			
遺跡の種別	集落		遺跡の主な時代	中世・近世			
検出遺構	柱穴・溝状遺構						
出土遺物	陶磁器片 2個 土器片 3個 鉄片 1個						
特記事項	上位から耕土層・漸移層・生活層と形成される。トレンチBのみ生活層の上位に火山灰層が明瞭に残る。これより下位の層は、河川の移動・汎濫により堆積したと思われる。出土遺物としては、トレンチ3・Gより1個づつの陶磁器が、トレンチ2より2個・トレンチFより1個土器が出土。トレンチ5より鉄器が1個出土した。③層の生活層より柱穴や溝と思われる遺構が検出された。地形としては西側が東側より高くなっている。出土遺物が少ないということからも、中世・近世頃の小規模の村落が存在した可能性がある。						
調査地							



西方向より



トレンチ 1



トレンチ 2

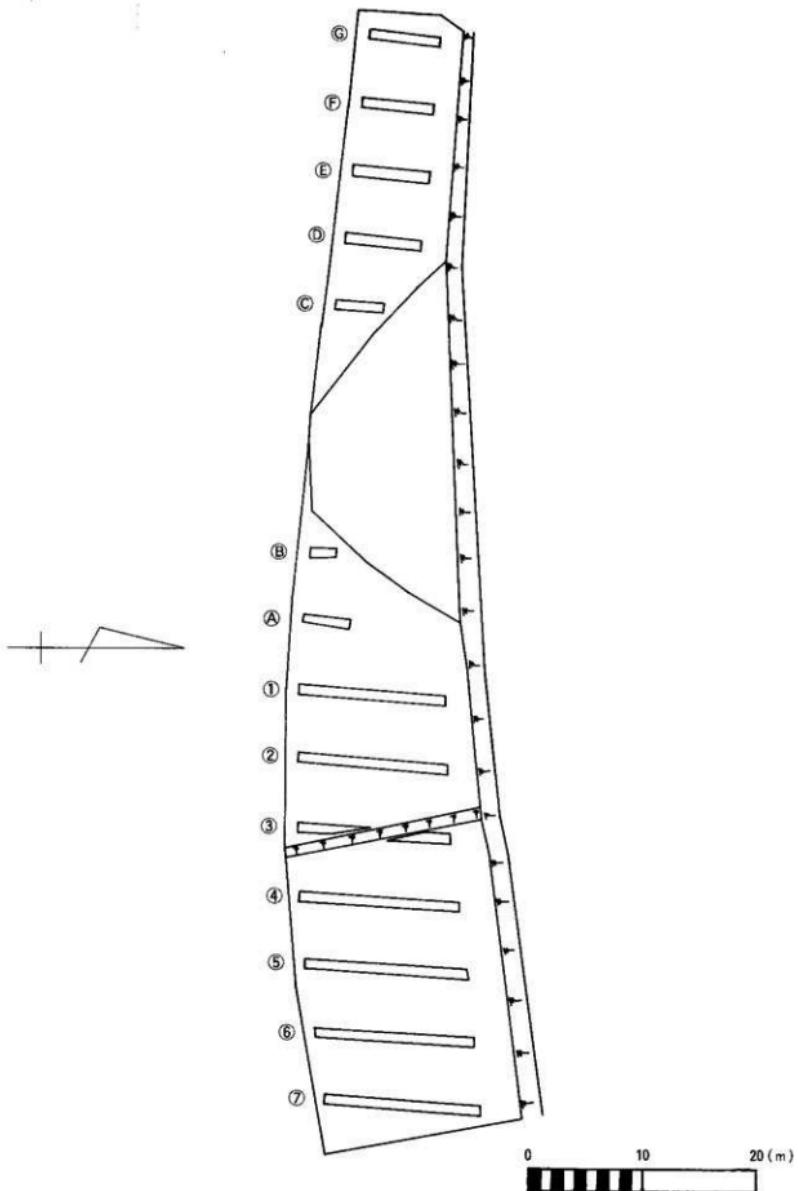


トレンチ 6

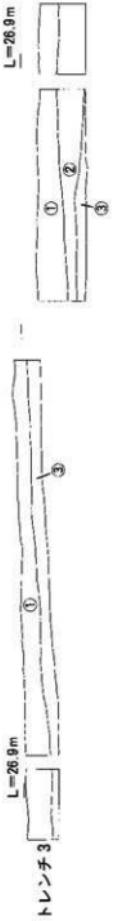
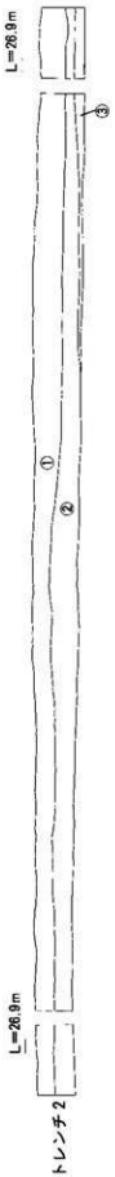


トレンチ 7

図版16 尾曲遺跡 全景写真・遺構写真



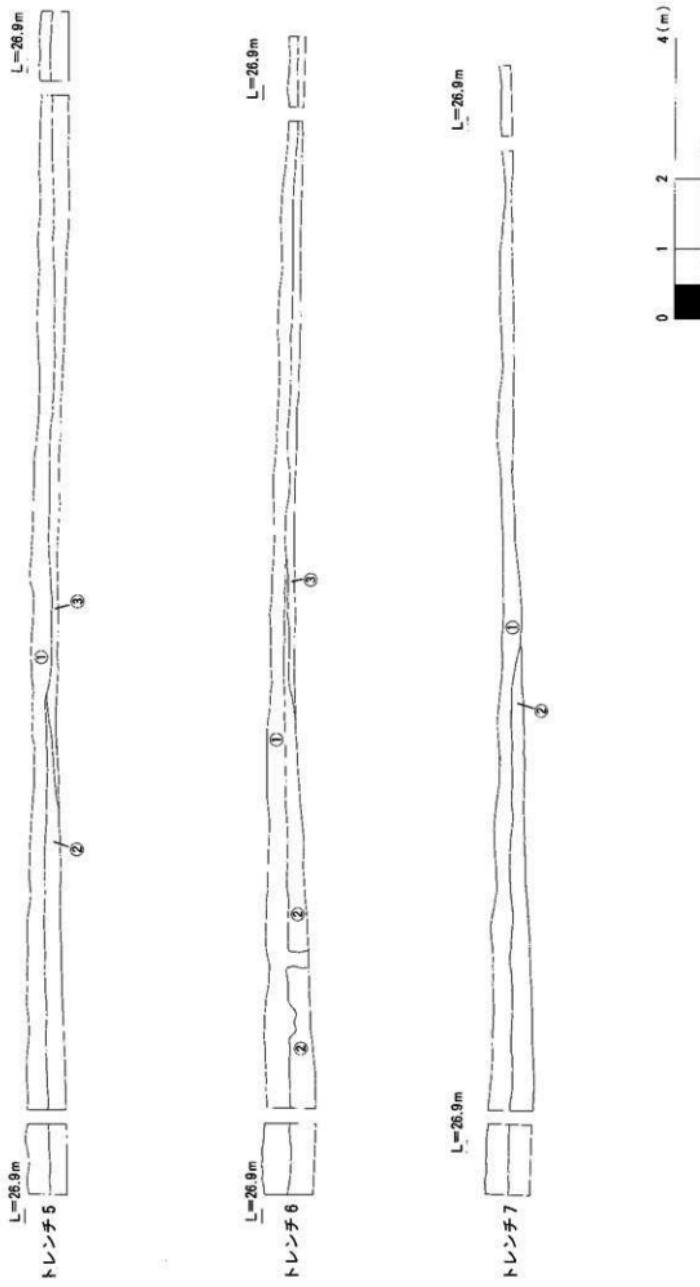
図版17 尾曲遺跡 遺構図

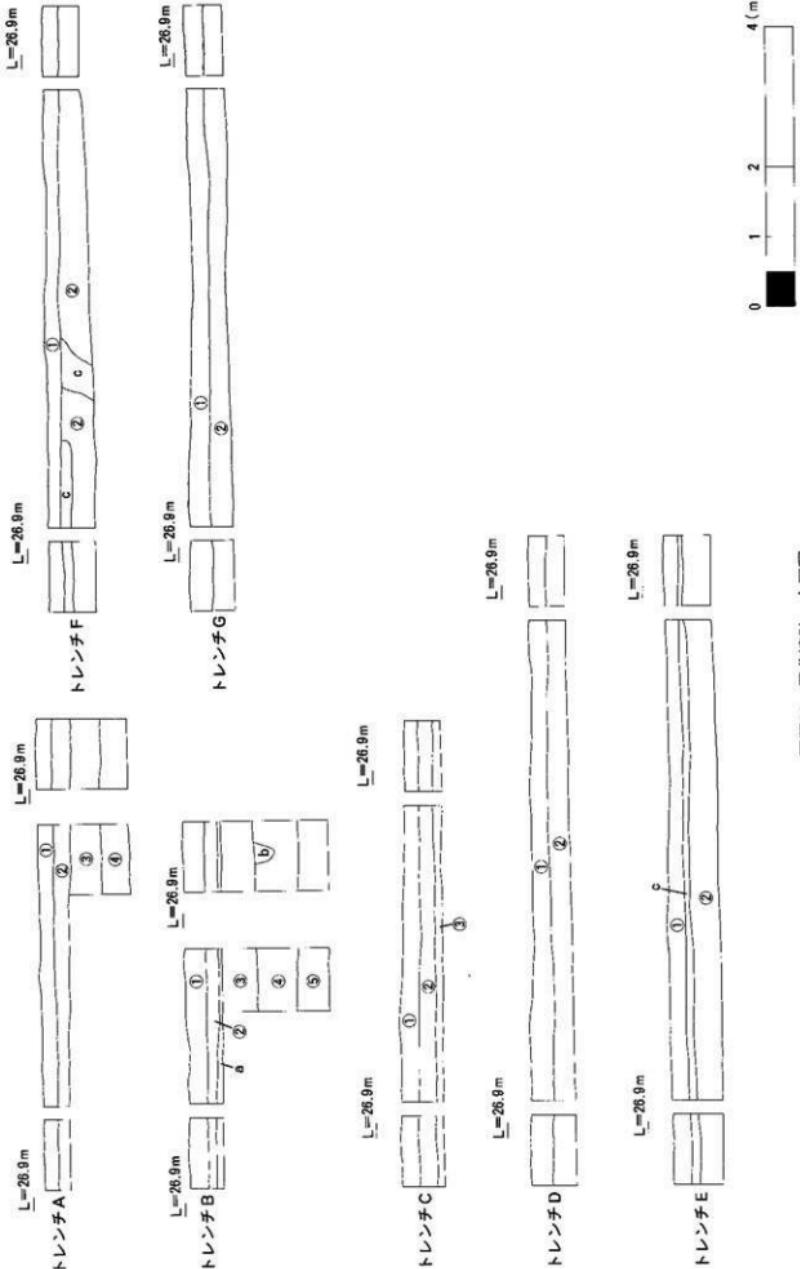


	1断面	2断面	3断面	4断面
1 断面	10YR3/2 黒褐色	2.5YR2/1 黒褐色	現耕作面	
2 両側壁	2.5YR6/1 黄褐色	粘質層で少數のコククを1m ² /20%含む		
3 生地層	2.5Y8/3 黄	粘質の所で川の移動に伴い堆積		
4 自然堆積層	7.5Y7/1 灰口			
5 白泥地層	2.5Y7/3 黄			
a 火山灰層	2.5YR6/8 他	洪水時の堆土が堆積、河原石を挿入		
b 堆積層	2.5Y12/1 黑	火山灰を含むトレンチBのみ層として検出		
c 地盤層	2.5Y6/8 明黄色	シルト質の所、漂砂層の中に堆積		
		微高地より移動堆積、粘土質		

図版18 尾曲遺跡 土層図

図版19 尾曲遺跡 土層図





平成9年度埋蔵文化財発掘調査

市町村	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村明史・櫛間史朗		
遺跡名			所在地	佐土原町大字上田島（野久尾）			
調査原因	町道テクノリサーチパーク線建設に伴う事前調査		調査面積	約3,500m ² （トレンチ面積194.5m ² ）			
調査期間	平成9年5月8日～6月13日		調査後の処理	消滅			
遺跡の種別	不明		遺跡の主な時代	不明			
検出遺構	炭化層						
出土遺物	土器片						
特記事項	<p>本調査地は谷間の斜面にあり、等高線に垂直に計16本のトレンチを入れた。土層構成としては、表土層・粘土層・疊層となっている。ほとんどの地点で表土・粘土の2層より形成されており、トレンチ15・16でのみ明瞭に疊層が検出された。この2点は特に傾斜の急な場所であり、崩落等による堆積ではないかと思われる。（トレンチ15・16の斜面の下の方にある1・2でも一部疊層を検出）遺物はほとんど検出されず遺構堆積層は、トレンチ2でのみ厚さ5～10cm程の黒色炭化層が検出された。</p>						
調査地							



南方向より



東方向より



トレンチ 1・2・3



トレンチ 4



トレンチ 5・6



トレンチ 7・8・9

図版21 テクノリサーチパーク 全景写真・遺構写真



トレンチ10・11・12



トレンチ13・14



トレンチ15

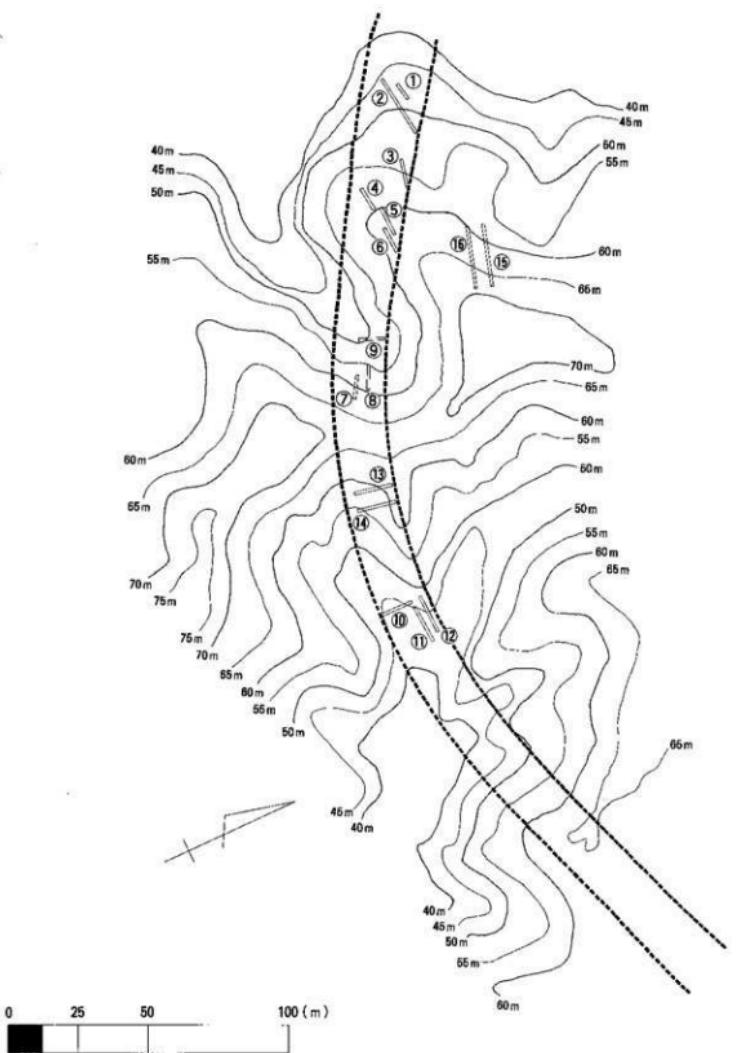


トレンチ16



トレンチ2・炭化層

図版22 テクノリサーチパーク 遺構写真



図版23 テクノリサーチパーク 遺構図

宮崎県佐土原町文化財調査報告書第11集

1998年3月

編集・発行

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

〒880-0211 宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島20660番地

TEL 0985-73-1111

印 刷 (有)印刷センタークロダ

〒880-0022 宮崎市大橋2丁目175番地

TEL 0985-24-4351